

今後の中小企業経営と政策の方向性についての検討

1. 背景

- (1) 経済がデフレ構造から脱却し、新しいステージに移行しようとする中、中小企業経営を巡る環境は大きく変化している。
- (2) こうした変化に対応するために、短期的に、あるいは中長期を見据え、今後の中小企業経営はいかにあるべきか。また、そうした中小企業経営をサポートするために、中小企業政策はいかにあるべきか。時代が大きく転換しようとしている今、まさにこうした点について検討する必要がある。

2. 本日も議論いただきたい論点

- (1) 以下のように、中小企業経営に大きな影響を与える環境変化が発生。
- ①全国での急激な少子高齢化・人口減少による地方経済への影響
 - ②経営者の高齢化・後継者不足
 - ③構造的な人手不足
 - ④30年ぶりの賃上げ
 - ⑤原材料・エネルギーコスト等の上昇
 - ⑥50年ぶりの円安水準
 - ⑦日銀のマイナス金利政策からの転換
 - ⑧DXの進展
 - ⑨カーボンニュートラル・GXの重要性の高まり
- (2) こうした大きな環境変化を踏まえ、
- ①中小企業経営者は何を意識してどのような経営を行うべきか。
 - ②上記①を踏まえ、現在の中小企業政策をどう評価し、今後いかにあるべきか。